

Il Cannone[®] for Cello

世界的に有名なチェロ奏者 Jian Wang (ジャン・ワン) も使用する新商品 Il Cannone のチェロ弦

Il Cannone と Magnacore と比較すると…



A

Il Cannone A の Direct&Focused は、Magnacore Arioso の表現力、Magnacore の発音の良さ、Larsen Soloist の音色を兼ね備えていて、さらに耐久性がある。
Warm&Broad は、より温かい音色を持ち、楽器を明るく響かせるのに適している。
Il Cannone を使用したチェロ奏者からは、優れた演奏のしやすさとレスポンスの良さに加えて、耐久性を評価するフィードバックがあった。

D

クリアで鋭い音が出る Il Cannone D の Direct&Focused の特徴は、Magnacore Arioso に近いが、弦のテンションは低くなっている。
これによって A 弦の発音が強化され、よりオープンな音色になる。
Warm&Broad は、Magnacore medium と同様に、美しさと温かさ、音の明瞭さがあるが、Magnacore よりもパワフルなのが特徴。

G

不快な金属音を軽減すると定評のある Magnacore。それと比較しても Il Cannone G はさらにより開放弦での金属音を軽減し、すべての音で安定感をみせる。
もう 1 つの違いは Il Cannone の柔軟性。これにより操作性が向上して、音のレスポンスが速くなる。ただし、弦のテンションや指に対する抵抗を好むプレーヤーは、Magnacore を好むかもしれない。

C

Il Cannone C はフォーカスされた明確で芯のある音が長続きする。
Direct&Focused は、これまで Larsen にはなかった音色を生み、Warm&Broad は Magnacore medium に近いが、より温かく、豊かな倍音を持ちながらも芯のあるベース音を備えている。そして操作性の高さも増している。
弦のテンションが低くてピアノニッシモの演奏がしやすいのが Magnacore Arioso だが、Il Cannone は中程度の張力があるにも関わらず、Arioso に近い苦のない演奏が行なえる。



Warm&Broad と Direct&Focused は自由に組み合わせることができます。

上 2 本と下 2 本を揃える Warm&Broad A&D と Direct&Focused G&C の組み合わせの他、オープンで明瞭な音を作る際には、Warm&Broad A と Direct&Focused D の組み合わせも試してみる価値があります。Warm&Broad C と Direct&Focused G を組み合わせると、C がよりシャープに、G がより温かくなります。